

感染対策できていますか？

感染性胃腸炎を広げないための4つのポイント

手洗い

感染対策の基本です
石けんと流水で手を
よく洗いましょう

食事前、排便後、汚物処理の後
などはとくにしっかり洗い、

タオルの共用は避けましょう

環境消毒

次亜塩素酸ナトリウム
(0.02~0.05%) を用いて
手が触れやすい場所を
拭いて消毒しましょう

例 手すり、ドアノブ
エレベーターのボタン
トイレの水洗レバー
スイッチ類 など

嘔吐物等の処理

使い捨ての防護具を着用後

次亜塩素酸ナトリウム
(0.1%) を用いて消毒し、
併せてしっかり換気をしましょう

汚染箇所は放置せず、
速やかに処理してください

情報の管理

日頃からの健康観察、職員間の
情報共有を徹底し、胃腸炎症状
を見逃さないようにしましょう

流行期の嘔吐・下痢は感染性を
疑って対応することを推奨します

千葉市の流行情報
はこちら



施設全体で予防に取り組みましょう

チェックリストも
ご活用ください ➡

